

石クリ通信

5月号

看護師 清水 早苗

看護師 澤田 彰子

日立に移り住んで、三年目になりました。一年目は、娘を幼稚園に8時30分に送り、午後1時30分に迎えに行き、1時間程度園庭で遊ばせ帰宅。お陰で「ママ友」ができました。

二年目は、自分が仕事を始めたため、息子が保育園に入園。園になかなか馴染めず、毎朝大泣きでした。そんな息子も1年が経ち、最近では笑顔で登園するようになり一安心。そして三年目の今年は、パソコンも出来る、文章を書くことも、人前で喋ることも苦手な私が、なんと子供会の会長と、学校のPTA役員（しかもジャンケンに負けて広報委員）という2つの役になったしまいました。毎月学校に集まって話し合ったり、行事の計画を立てたり、色々大変ですが、全ては「子どもの笑顔のために」母は頑張りたいと思います。そして思う。「来年はまわつて来ませんように・・・」祈り。

CW 大渋滞

事務 森 絵里子

今年のGWは大学時代の友人と会うため、兵庫県神戸市と岡山県の新東名が開通したということ、せっかくだし通ってみよう！と思い渋滞覚悟で車に乗り込みました。案の定大渋滞。予想を上回る長い渋滞に何度もひっかかり、話題のサービシアはどことも満車。NEWSスポットを満喫する、こたく十七時間かけて神戸に行きました（運転手は私の兄です）が、いざ神戸に着いても人、人、人、車、車、車。上道も下道も大渋滞。このまま倉敷にはたどり着けないのでは？と思うほどでした。無事、友人に会うことができたが、遊びの疲れより移動の疲れのほうが大きい旅行になりました。

二つのトイレット・ロール

院長 石川 悟

トイレで使う紙はトイレット・ペーパーですが、くるくる巻きになっているので、英語ではトイレット・ロールとも言います。トイレに座ると視界も悪く、音楽を聴くわけでもないのに、いろいろくだらないことを考えます。最近はこのトイレット・ロールが二つ付いているのが当たり前で、二つがどう使われているかに着目しました。片方が予備として置いてあるので、常識的には一方が終了してから次に移る、と考えるべきです。ところがホテルやゴルフ場のトイレなどに入ると、二つが均等に減っているのが少なくありません。紙に包まれたままのものが別に置いてあつたりするので、大きな問題にはなりませんが、なぜこうなつてしまうのか――世の中にはトイレの紙も「平等」に扱いたい人がけっこういるようです。

さて、先日横浜の「東横イン」に宿泊しました。合理的な経費削減で有名なビジネスホテルです。客室のトイレに入つて納得。片方のトイレット・ロールは普通に入つて置いてあるのに、もう一方は紙に包まれたままで、「こちらは予備として置いてあります」と無言の主張をしていました。紙がなくなり、新しいものを使う時に客が包装紙を剥く手間は生じますが、二つの紙が同時に無くなるリスクも減るし、別保管のトイレット・ロールの紛失も防げる。ちよつとした発想の転換だな、と感心しました。

「私の仕事」

薬剤師 石川 恵

「診察が終わつた後、会計までに意外と時間がかかるな・・・」そんな経験を当院で持ちの方も多いかもしれません。よつて今回は、私のクリニックでの仕事内容を書こうかと思ひます。診察の後お待たせしているのは、実は私が出された処方箋を再確認しているせいでもあります。院外処方製の院内に薬剤師がいることは珍しいのですが、処方箋を患者さんにお渡しする前に、他の院の薬剤情報と照合し飲み合わせを確認したり、疑わしい部分を先生に確認することで、最終的には手間や時間の短縮に繋がっているのでは、と思つています。

お薬手帳は重要な手掛かりです。薬局でも出すのに何でまた、と思われるかもしれませんが、薬局では処方内容、私は先生の診察の記録などを参考にチェックしているので、異なつた立場からお薬の確認ができていないのではないかと思います。いろいろの不便もおかけするかもしれませんが、なるべく迅速に、また正確に処方が出されるよう日々努力しているので、ご理解頂けると、とてもありがたいです。

超ーおいしいアボカドシェイクの作り方

事務 石川 香

私が長年愛用しているレシピです。皮をむき種をとつたアボカド1個と牛乳300ml、はちみつ大さじ2、氷6個をミキサーにかけます。（2人分）アボカド好きにはたまらない、アボカドの味がしつかり、ハチミツの香がよいアボカドシェイクの出来上がり！ 森のパターと呼ばれる程栄養価の高いアボカド、美肌効果もあります。

クリニクは花ざかり 春の巻 事務長 石川 都

今回はクリニクのまわりの樹木や花々をご紹介しましょう。四月の開院記念日を華やかなピンクで彩るのが、駐車場西側のツツジ、文字通り「春一番」です。続いて濃いピンクの花をつけるのが、南西角の花ミズギ。また薬局とのフェンス前には紫と黄のパンジーがただ今満開、その横にはクリスマスローズがひっそりと葉に隠れるように咲いており、横のピンクのミニバラも咲きそうです。フェンスに絡んでいるのはジャスミン、初夏には芳香を漂わせてくれることでしょう。玄關脇の花壇では、今まさに西洋しゃくなげが大きな蕾をつけています。花壇の大きな二本の木はオリーブです。ワインとイタリアンが大好きな私たちは実がなるのを心待ちにしています。郵便ポストに絡む紫と白の二種のてっせん（クレマチス）も蕾が開きそうです。そしてその横に咲く赤いかわい花はチェリーセージ、葉はハーブでよい香がします。これらの順調な生長は、友人の園芸ボランティアATさん、スタッフSさん始め多くの方々の丹精の賜物で、いつも心から感謝しています。皆さんも植栽について何か気がついたことがありましたら、いつでもおっしゃって下さい。ご意見やご指示をお待ちしています。



五月三日 母の日

看護助手 柴田 さち子

私の母は今年で九十六歳です。一度も入院したことがありません。血圧が少し高いだけで、ただ最近認知が入り何回も同じことを話しています。1回、2回、3回、4回、5回、・・・聞いてはいるが、「ばあちゃん、その話、10回聞いたよ」と言うとおそつと照れ笑い。子供としていつまでも若い時のイメージが有り、何でも出来ると思つていました。が、年と共に忘れる事が多くなつてきました。娘として、母に感謝していることがあります。今でも自分の身の回りと洗濯物、それだけはやっています。母の口癖はみんなに迷惑かけないように頑張るから・・・と。私も年と共に母と同じ様な人生を送れる事を望んでいます。

